



KING CO., LTD.

Focus 80

2026-2028

中期経営計画 2026～2028

2026年5月15日 株式会社キング 証券コード：8118（東証スタンダード）

Introduction

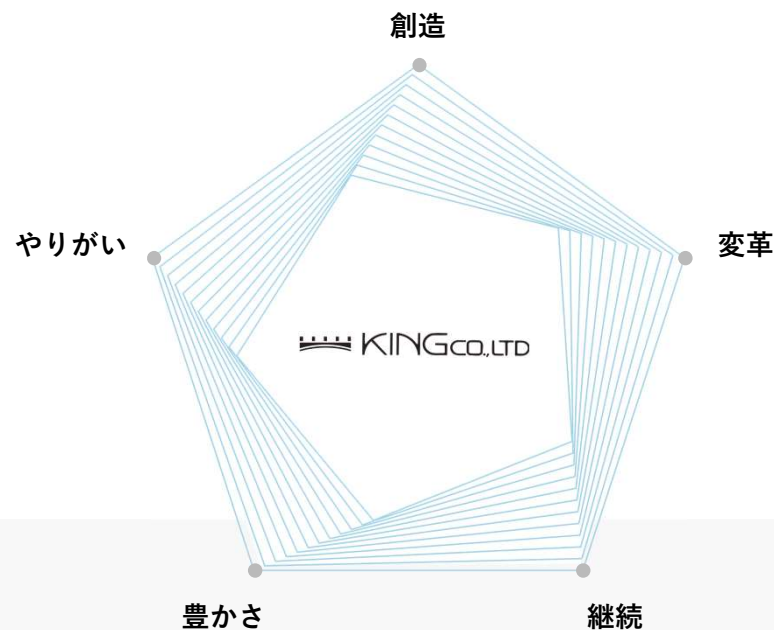
イントロダクション

社是

もの言わぬものに もの言わせるものづくり

企業理念

常に社会と生活者を見つめ たゆまぬ創造と変革を行い
より充実した生活にしよう



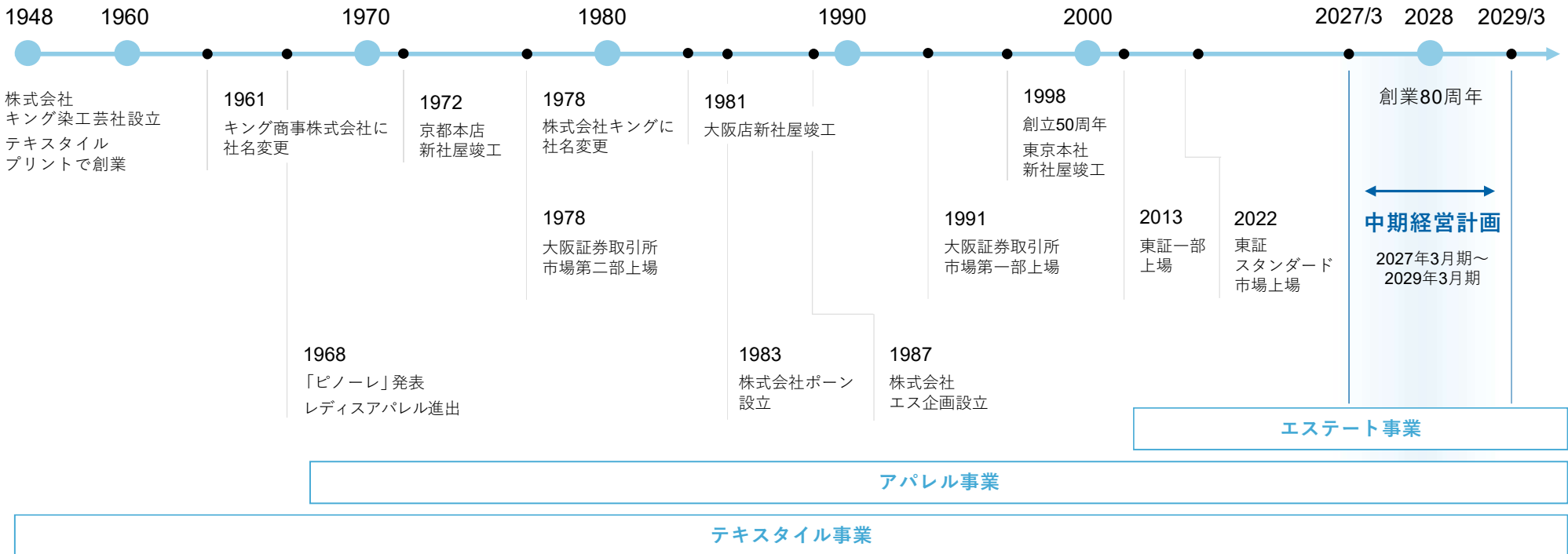
イントロダクション	社是・企業理念 / 目次	02	中期経営計画	外部環境	08	定量目標	15
	沿革	03		中期経営計画の位置付けと基本方針	09	中長期的な価値創造に向けた	16
	会社概要	04		事業戦略：アパレル事業	10	取り組み	
事業概要	事業ポートフォリオ	06	-ブランド一覧	11	人材戦略	17	
			-ECと店舗（パートナーショップ）の連携	12	ステークホルダーへの価値還元	18	
			事業戦略：テキスタイル事業	13	ESG	19	
			事業戦略：エステート事業	14			

沿革

当社グループは、1948年に京都でプリント生地の製造から始まりました。

テキスタイルを源流に、婦人服・エステートへと領域を広げながら、78年にわたり変化への挑戦と成長を重ねてきました。

創業80周年を迎えるにあたり、私たちはその歩みを未来へつなぐべく、新たな中期経営計画の実行に取り組みます。



会社概要



会社の概要

会社名 株式会社キング

社員数

148名（グループ）
197名（店頭販売員等を含む）

設立 1948年9月

主要事業
（グループ）

アパレル（レディス・ファッショングッズ）
テキスタイル（プリント・無地先染）
エステート

資本金 23億46百万円

（2026年3月31日現在）

グループ企業

株式会社ポーン

アパレル各社への生地
の企画、製造販売

株式会社エス企画

アパレル向け附属品及び
販促資材の販売

**株式会社キング
アパレルサポート**

当社の企画・販売並びに
事務代行

事業所



東京本社

〒141-0031
東京都品川区
西五反田2-14-9



大阪店

〒564-0051
大阪府吹田市
豊津町1-7



渋谷店
（株式会社ポーン）

〒150-0041
東京都渋谷区神南
1-6-6 OZAWA
BUILDING 3、4F



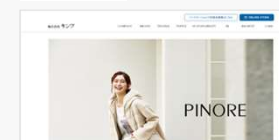
京都本店

〒600-8214
京都市下京区
東塩小路
高倉町2-1



WEB SITE

<https://www.king-group.co.jp/>



EC SITE

.K online
ドットケイオンライン

EC 取扱いブランド

PINORE / JUDY COLLECTION / pierre cardin
MORABITO (BLANC / SPELL)
PRIDE / PRIDEBIS

Business

事業概要

事業ポートフォリオ

当社グループの事業ポートフォリオは、創業以来の原点である**テキスタイル事業**、中核を成す**アパレル事業**、そして安定収益の**エステート事業**の3事業で構成されている。これら3本の柱が相互に補完し合うことで、外部環境に左右されにくい盤石な経営体制を確立しています。

(2026年3月期実績)

テキスタイル事業

売上高 768百万円

営業利益 32百万円



当社事業の原点であり、ヴィンテージコレクションを活用した業界トップクラスの企画提案力を発揮し、付加価値の高い素材を各アパレルメーカーに提供している。

エステート事業

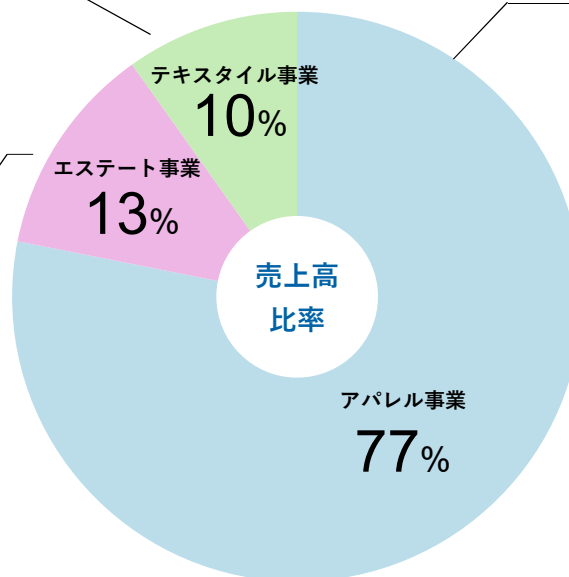
売上高 1,015百万円

営業利益 808百万円



当社が保有する優良資産の活用によるリーシング業。

売上高 7,835百万円
営業利益 790百万円



アパレル事業

売上高 6,050百万円

営業利益 ▲41百万円



ベターアップゾーンへ向けた高品質な商品展開を行う主力事業。パートナーショップ※1との連携を生かしたビジネスモデルを構築。

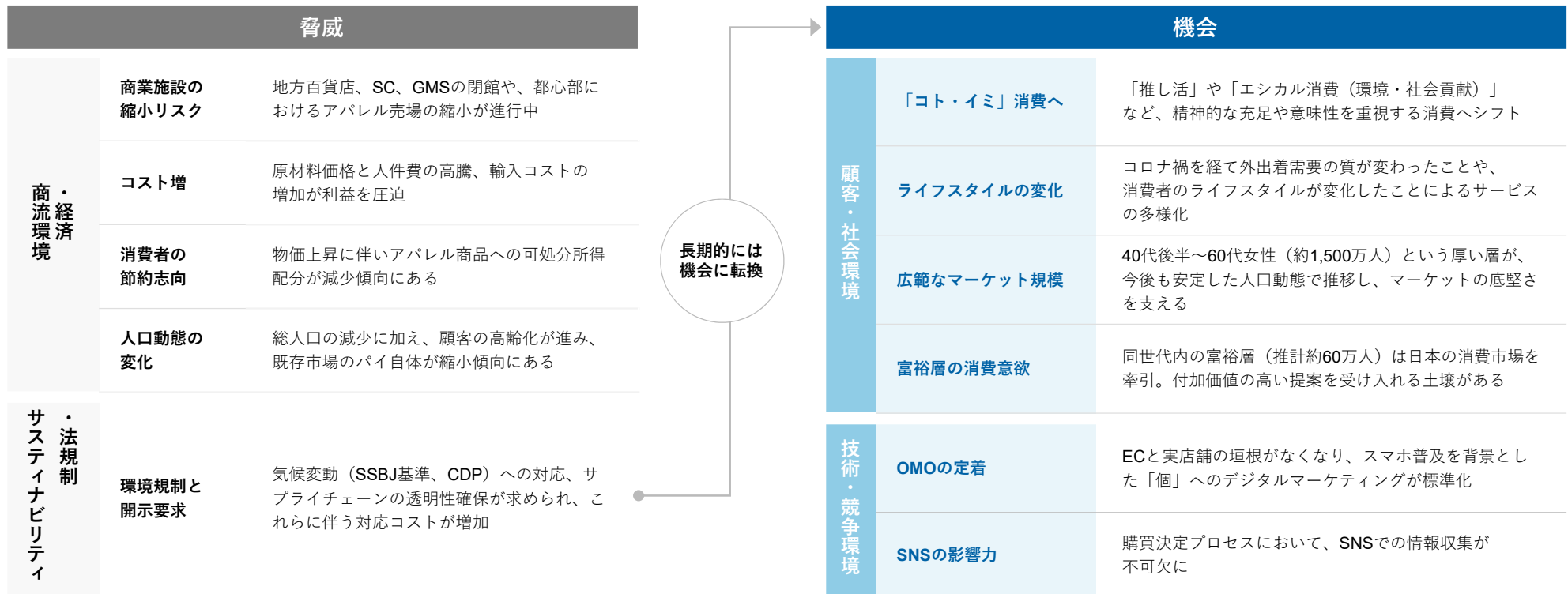
※1 パートナーショップ (PS) オーナーと当社との信頼関係を基盤に、商品供給に加え売上向上や経営安定に向けたサポートを行う仕組み。

Focus 80

中期経営計画

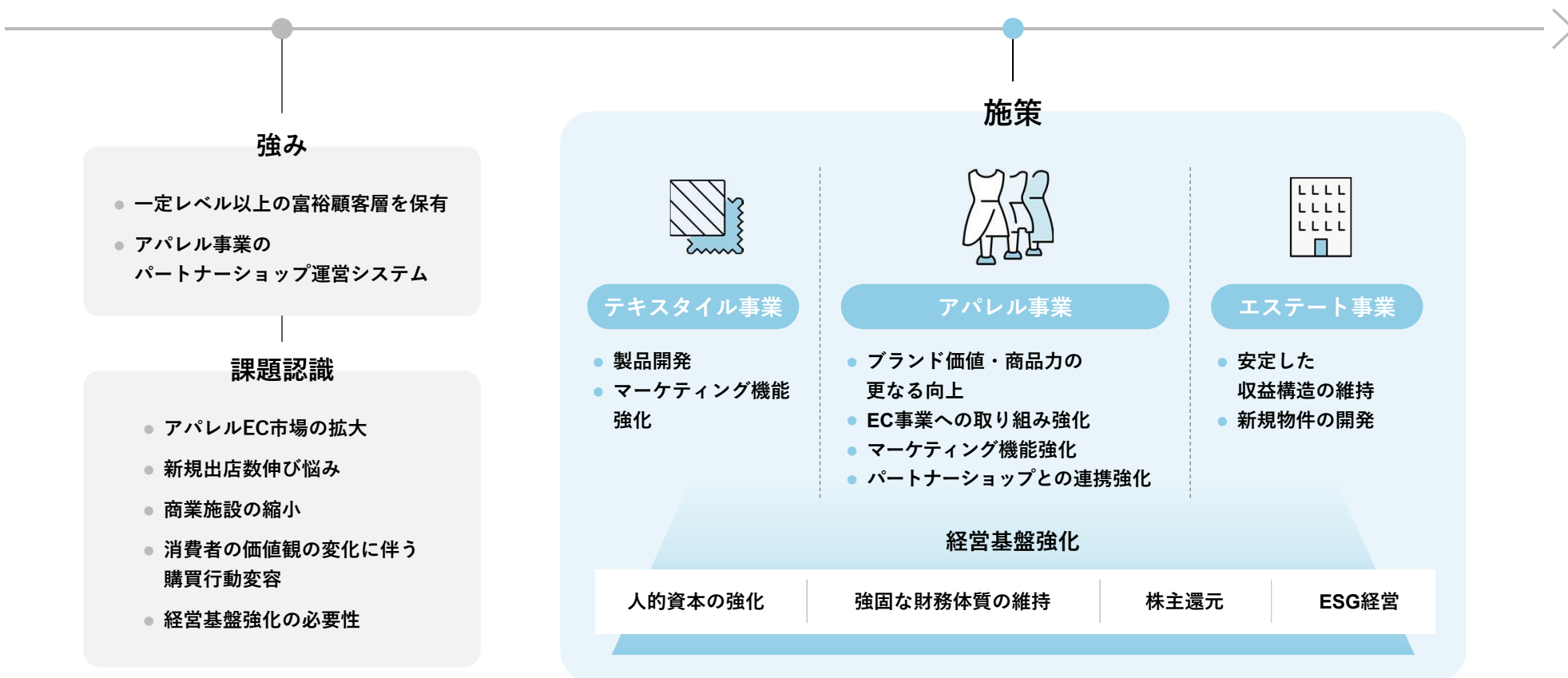
外部環境

アパレル市場は、「消費者の価値観変化」「デジタル化の加速」「コスト構造の変化」の波に直面。
特に当社の主戦場である**販路（百貨店・ショッピングセンター）の縮小**と、**ターゲット層の購買行動変容への対応**が求められています。



中期経営計画の位置付けと基本方針

アパレル市場と当社の現状を踏まえ、各事業における実効性のある施策を推進し収益力向上を目指す。



事業戦略：アパレル事業



基幹ブランドの**リブランディング**と**商品MDの適正化**により収益基盤を盤石にしつつ、**市場の変化に対応していく新ブランドの開発**、及びデジタル活用と戦略的な店舗開発で**新規顧客の開拓**に取り組みます。

あるべき姿

大人女性服のリーディングカンパニー

- 1 | **ブランド価値の再構築（リブランディング・商品強化）**
単なる現状維持ではなく、ブランドの「鮮度」を取り戻す
- 2 | **新ブランドの開発**
「ピエールカルダン」とのライセンス契約等、新規ブランド開発を継続する
- 3 | **オペレーションの適正化による利益体質強化**
グローバル売上の拡大、在庫の適正運用
- 4 | **デジタルマーケティング戦略としてSNS・EC活用施策による新規顧客の開拓**
既存の「店舗、顧客層」に加え、新しいチャネルと客層を開拓する

事業戦略：アパレル事業 ブランド一覧

細分化された市場のニーズに対し、ターゲットとコンセプトを精緻化したブランドをラインナップ。「上等・上質=プレミアム」を基盤に独自のポジショニングを確立し、顧客との関係を深化させ、環境変化に左右されない強靱なブランド価値を発揮しています。

市場

ベターアップゾーン

ターゲット

生き方を楽しむ大人世代

コンセプト

「上等・上質=プレミアム」の追求

オリジナルブランド

確立されたブランドコンセプトのもと高い付加価値と独自性のある提案力を強みとし、市場での優位性を発揮するブランド

PINORE
(ピノーレ)



JUDY COLLECTION
(ジュディコレクション)



PRIDE
(プライド)



PRIDEBIS
(プリデビス)



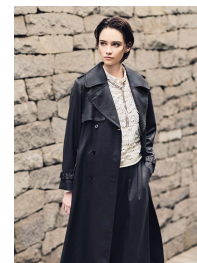
ライセンスブランド

ブランド力を前提とした市場での存在感と高い競争優位性で企業価値向上に貢献するブランド

pierre cardin
(ピエール・カルダン)



MORABITO PREMIER
(モラビト プルミエ)



MORABITO BLANC
(モラビト ブラン)

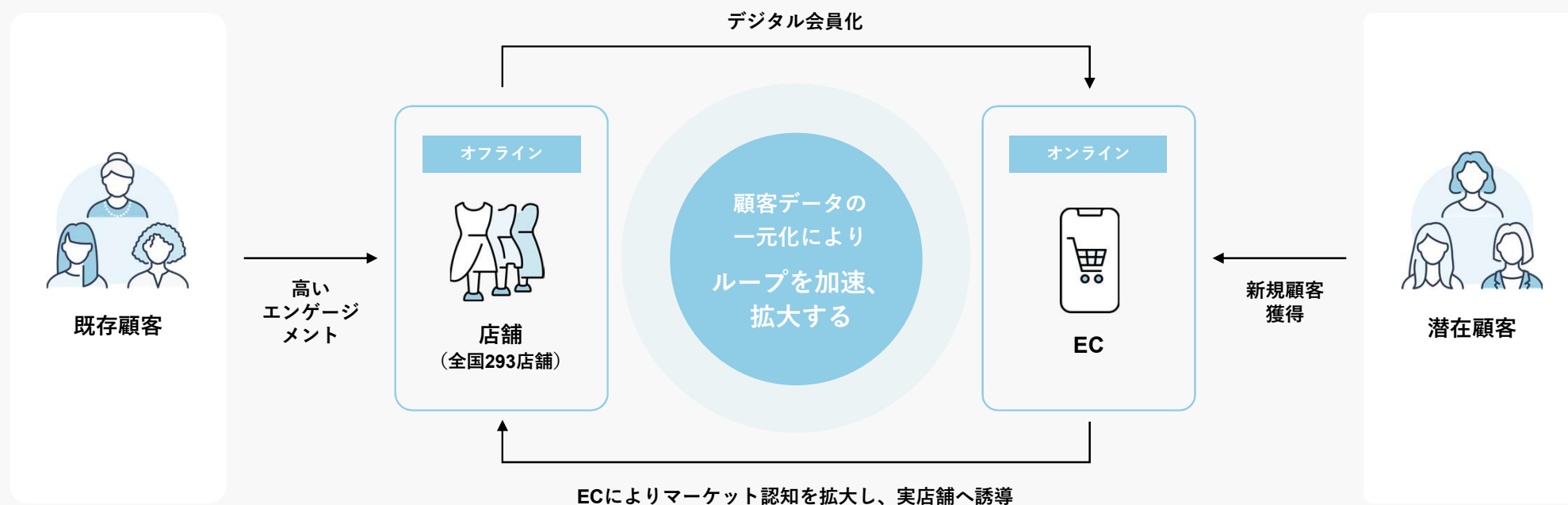


MORABITO SPELL
(モラビト スペル)



事業戦略：アパレル事業 ECと店舗（パートナーショップ）の連携

パートナーショップが保有する顧客資産を有効活用し、**OMO（Online Merges with Offline）** 推進による**相互送客を強化**する。
デジタル会員数の拡大を通じて、EC・パートナーショップ双方の売上最大化を目指します。



事業戦略：テキスタイル事業

独自のヴィンテージ資料のデータ化推進と提案力強化をしつつ、さらなる**販路の拡大**を目指し、業界No.1の別注対応力を持つテキスタイルコンバーターとして成長を図る。

あるべき姿

出会うすべてのひとにとって最良のパートナーであり続ける

1

既存事業のさらなる深化

100万点に及ぶ世界でも有数の生地・布片の資産「ヴィンテージコレクション」や、豊富な書籍を所蔵。企画のインスピレーション源として活用することで提案の質を高め、既存取引先との関係を深化する。

2

新規販路の開拓

新たなターゲット層へアプローチし、販路・販売チャネルを拡大。収益源を多角化する。

3

デジタル活用による提案力の強化

平面的な柄のデータを立体で表現する3Dモデリング技術等を提案に活かす取り組みをはじめ、デジタル技術の活用を進める。



事業戦略：エステート事業

当社が保有する優良物件の活用を通じて、安定収益基盤としての役割を担う。
物件の**計画的メンテナンス**を行い、資産価値と環境性能を守り、収益の安定化をはかる。

あるべき姿

安定した収益構造の維持

入居者満足度の向上

魅力あるテナント物件

1

計画的なメンテナンス（LCC最適化）

資産価値の維持のため、ライフサイクルコスト(LCC)を考慮した長期修繕計画を実行。
建物の長寿命化と管理コストの平準化を図りつつ、テナント満足度を高めて高稼働率を維持する基盤とする。

2

環境負荷低減

設備更新をLED化や高効率空調への切り替えの機会として活用。
環境負荷低減（CO2削減）へ貢献し、グループ全体のサステナビリティ目標の達成に寄与する。

3

物件開発

市場動向や商圈分析に基づき、収益性と将来性を見極めた物件開発を推進。
ポートフォリオの最適化を図りながら、安定収益確保と資産価値向上を目指す。



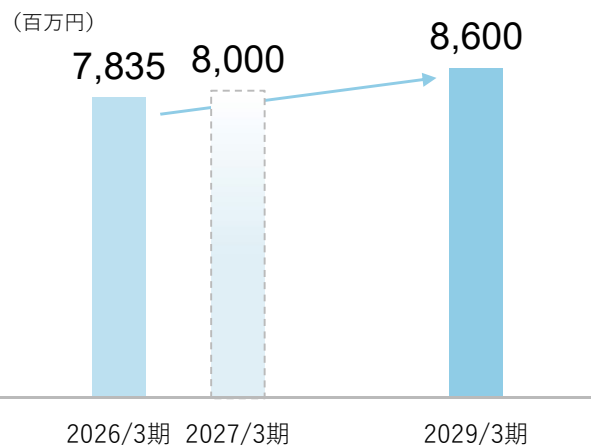
定量目標

「Focus 80」の実現に向け、アパレル・テキスタイル・エステートの各事業における経営資源の最適配分を通じて、収益力の向上を図ります。目標達成に向け、各戦略を確実に実行・検証していくことで、持続的な企業価値の向上と、外部環境に左右されない盤石な経営体制を確立いたします。

2029年3月期 達成目標

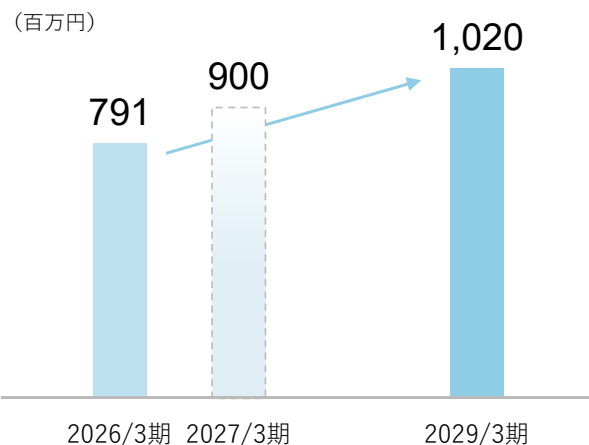
売上高 **成長性**

8,600百万円



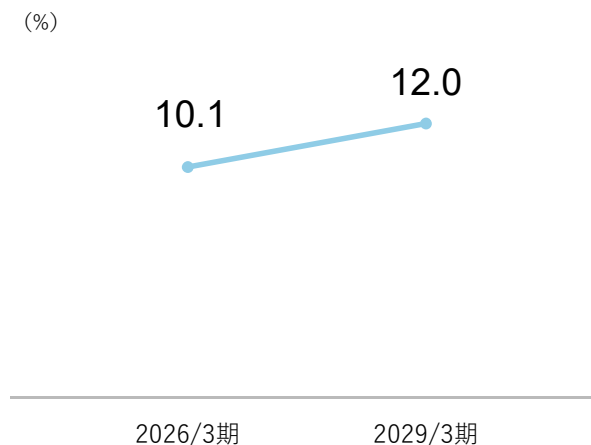
営業利益 **収益性**

1,020百万円



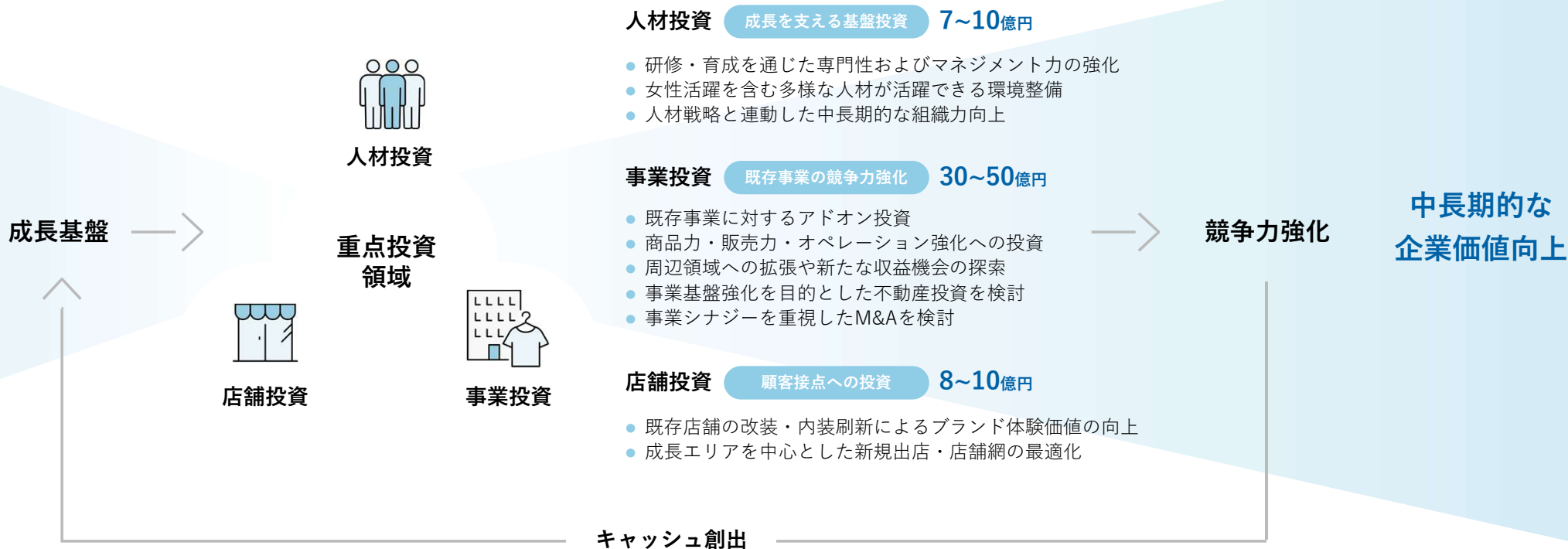
営業利益率 **収益性**

12.0%



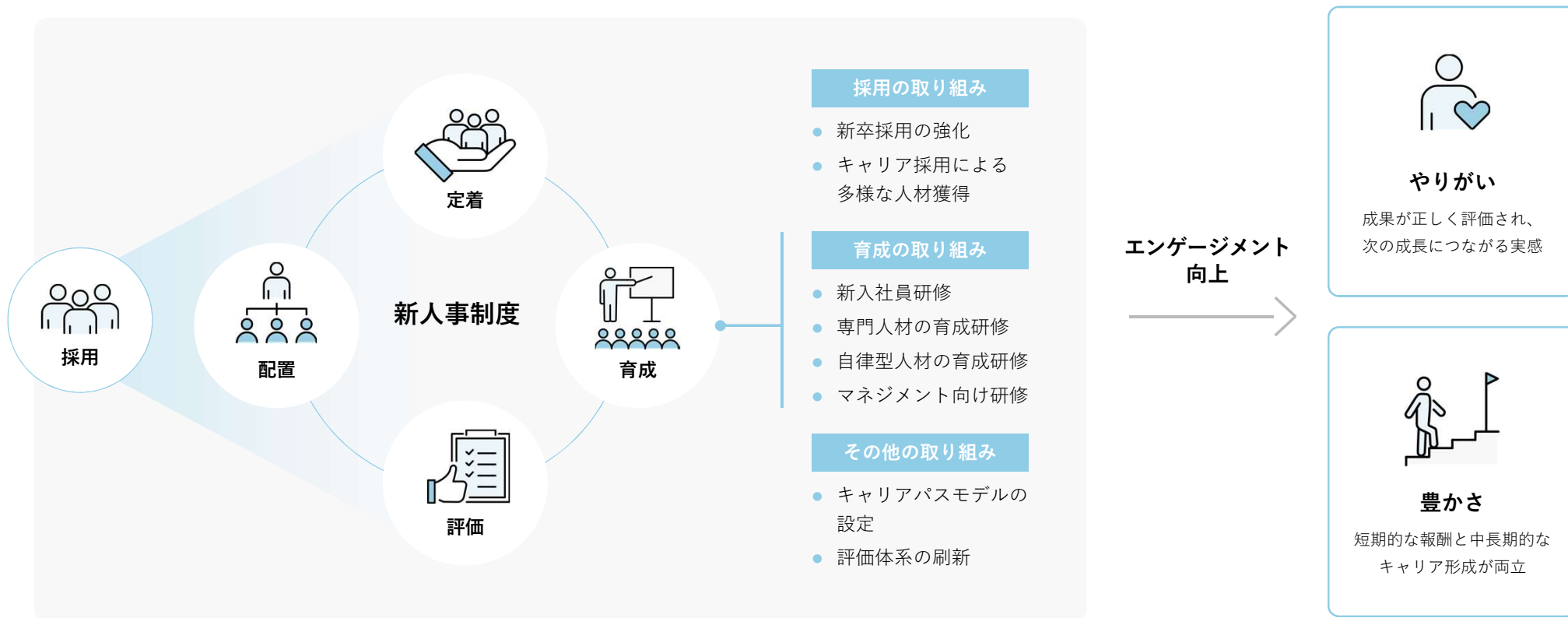
中長期的な価値創造に向けた取り組み

当社は、経営資源の選択と集中を通じて、将来の成長につながる分野へ戦略的に投資することで、**中長期的な企業価値の向上**を目指す。
 今中期経営計画においては、**人材・事業・店舗の3領域を重点投資分野と位置づけ**、既存事業の競争力強化と持続的な成長基盤の構築に取り組む。



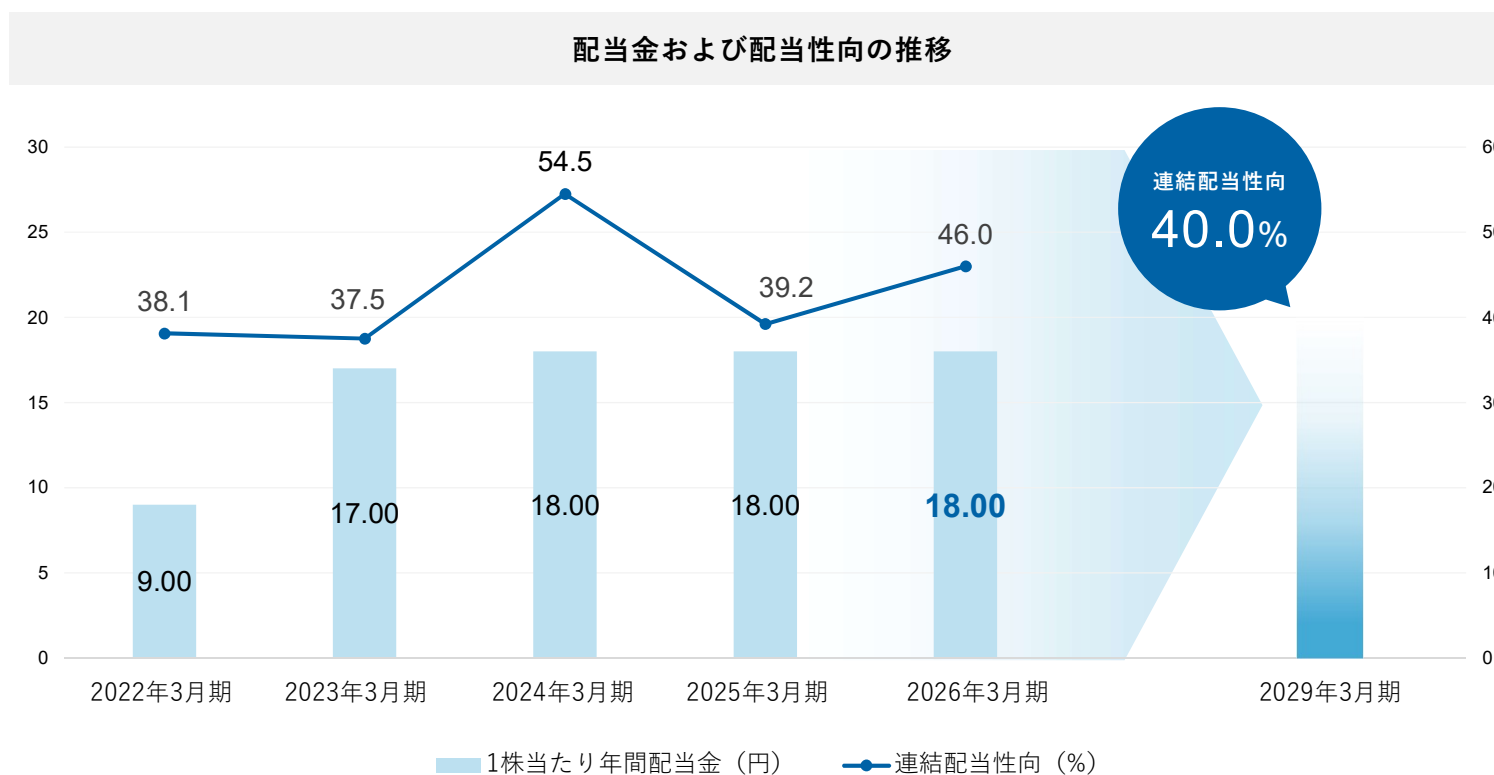
人材戦略

中期経営計画初年度より、新人事制度を導入し、育成・評価・配置を一体で設計することで、**社員一人ひとりが成長と成果の関係を実感できる仕組みを構築**する。階層別・役割別の研修を通じて専門性とマネジメント力を高め、**自律的に成果を生み出せる人材の育成**を進める。



ステークホルダーへの価値還元

財務健全性を維持しつつ、成長投資とステークホルダーへの還元のバランスを最適化することで、**企業価値の持続的な向上**を目指します。従業員への人的投資、処遇改善や働きがいの向上、取引先との公正で持続可能な関係構築を通じて、**企業価値創造の基盤強化とサプライチェーン全体の発展**に取り組みます。株主還元については、安定的かつ業績に見合った配当の継続を基本方針とし、**配当性向は概ね40.0%を目処に継続的な還元の充実**に努めます。



株主還元

- 1, 株主配当
- 2, 株主優待
 - a, ファミリーセールへのご招待
 - b, 図書カード贈呈

ESG

環境面では**エコ素材活用**や**衣類ロス削減**を推進し、社会面では**人材育成と女性活躍**等の環境整備に注力。
さらに、意思決定プロセスと透明性の高い事業運営を通じて、持続可能な社会の実現と**中長期的な企業価値の向上**を目指します。

E 環境	環境負荷低減に配慮した事業運営の推進	衣類ロス削減・リサイクルへの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 発注精度向上と消化率改善による在庫ロス削減 商品廃棄ゼロ＝売り切る体制を構築 	<ul style="list-style-type: none"> 衣類回収と循環型リサイクルへの取組 長期着用して頂ける安心・安全なものづくり 	
		CO ₂ 排出量削減	<ul style="list-style-type: none"> 照明のLED化や省エネルギー機器の導入によるCO₂削減 全社節電プロジェクトの継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> 物流倉庫の集約による輸送効率化 	
		環境保護・資源の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> 商品および関連資材におけるサステナブル素材の使用推進 動物愛護、環境保全の観点からリアルファーの使用を中止 	<ul style="list-style-type: none"> ペーパーレス推進、社内ゴミの分別徹底 	
			<ul style="list-style-type: none"> FSC認証素材によるショッピングバッグ製作 テキスタイル別注生産による過剰生産抑止 	<ul style="list-style-type: none"> 商品の品質検査の徹底 	
S 社会	人材育成と従業員の働きやすい環境整備。人材育成と働きがいの向上	次世代人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> 従業員研修の実施（国内外） キャリアパスに沿った挑戦できる環境作り 	<ul style="list-style-type: none"> 女性が活躍しやすい労働環境の整備 山田育英財団を通じた奨学金支援（1981年設立、累計685名支援） 	
		働きやすい環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ハラスメントの無い職場環境の整備（セミナーやホットライン設置） ストレスチェック等による従業員のメンタルヘルスケア 	<ul style="list-style-type: none"> 全社全面禁煙の実施 	
G ガバナンス	コンプライアンスの徹底と責任ある企業行動の実践	コンプライアンス推進	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス委員会の設置と行動規範の徹底 法令順守や情報漏洩予防のための従業員研修を実施 		
		責任ある企業行動の実施	<ul style="list-style-type: none"> 繊維産業における責任ある企業行動実施宣言（2023年10月） サプライチェーン全体での人権尊重・法令順守意識の共有と管理 		



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。